

平成24年度新潟県精神障害者社会復帰施設協議会共通研修実施要綱  
「平成24年度民間団体による地域での支え合いの輪構築事業」  
(新潟県地域自殺対策緊急強化事業民間団体事業補助金)

1. 開催趣旨

我が国における自殺者数は、平成10年以降年間3万人を超える状況が続き、G8諸国の中でも自殺率第2位と高い水準にあり、大きな社会問題となっている。新潟県においては、国内全国平均を上回る自殺率となっており、対策が進められている。自殺者や自殺未遂者及び自殺リスクの高い方たちの中には、精神に障がいを抱えている人も少なくないと言われている。

自殺対策は社会全体での取組みが必要であり、精神障害者の相談支援に長年関わってきた当協議会としても、社会の構成団体として、個々にあっては社会の構成員として、大きな社会問題となっている自殺対策にどのように取組むことができるのかを考える機会とする。

2. 目的

自殺（対策）の現状を理解し、新潟県精神障害者社会復帰施設協議会、会員事業所、会員事業所職員、地域住民として自殺対策の推進に資することを目的とする。

3. 開催期日

平成24年11月21日（水）～11月22日（木）

4. 会場

月岡温泉 月岡ニューホテル冠月 （新発田市月岡温泉 130 番地）

5. 日程

別紙 プログラム参照

プログラム

【平成24年11月21日（水）】

12:30	受付
13:00	開会 会長あいさつ
13:10	講義：新潟県の自殺の現状（自殺予防検討会における「人口動態調査死亡小票の分析」の結果を中心に） 講師 新潟大学大学院医歯学総合研究科 教授 高橋英樹 氏
	ワークショップ 1 グループ参加者間で、支援対象者（精神障害者）のなかの自殺既遂者についての自己認識を披露し合い（既遂者がいない場合は企図者でも可）、検討事例を選定。 2 検討事例が自殺にまで追いつめられた「過程」を分析し、どの時点、どの空間でどのように介入すれば自殺に至らなかった可能性があったのかについて検討。
	検討結果発表（全グループ）および講評
15:40	1日目研修会終了

15:50	臨時総会
17:00	終了

18:00	交流会
-------	-----

【平成24年11月22日（木）】

9:00	受付
9:30	いのちとこころの支援現場からのレポート <レポーター> 南魚沼市保健課指導主幹（保健師） 山崎直子 氏 新潟県弁護士会人権擁護委員委員長（弁護士） 平哲也 氏 新潟県下越地域いのちとこころの支援センター 専門相談員 伊藤聖子 氏 佐々木智絵 氏  <聴き手> 新潟しなの福祉会 地域生活支援センターふらっと 施設長 坂井省英 氏
11:00	休憩
11:10 (予定)	自死遺族の想いに耳を傾ける <話し手> 虹の会（自死遺族の会） 世話人 新潟県精神保健福祉センター 参事 保科志貴子 氏
	行政説明—新潟県のいのちとこころの支援対策～支え合いの輪を広げる～ 新潟県障害福祉課いのちとこころの支援室 主査 新保和敏 氏
12:30	閉会 副会長あいさつ

